

平成26年3月期 第2四半期決算について

平成25年11月

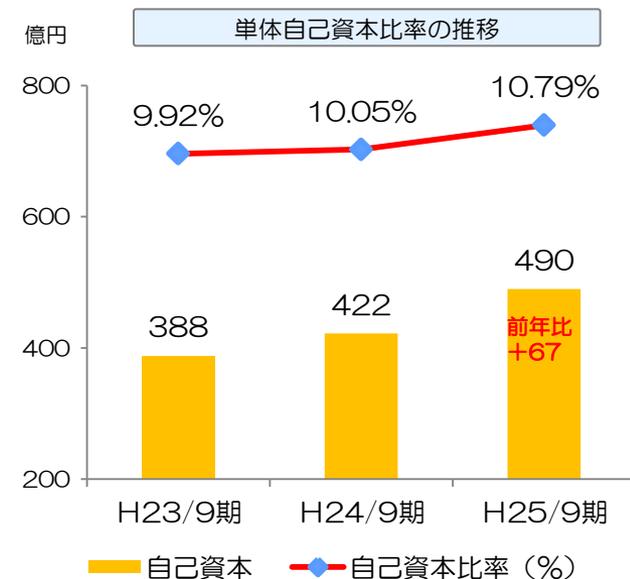
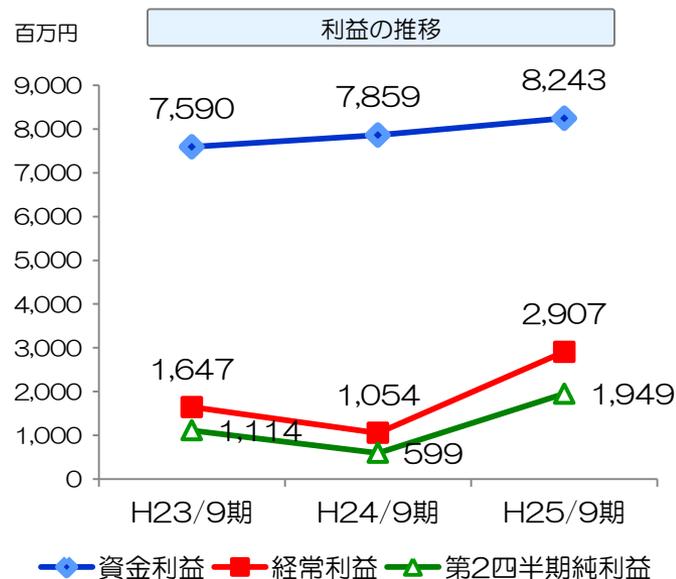
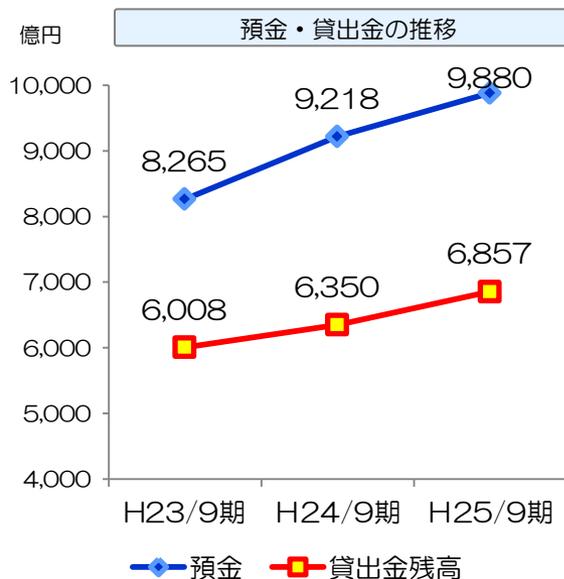
西京銀行

●業績ハイライト（単体）	……	2
●損益の状況	……	3
●資金利益の状況	……	4
●貸出金の状況	……	5
●預金と預り資産の状況	……	6
●有価証券運用	……	7
●不良債権の状況	……	8
●自己資本比率の状況	……	9
●中計期間中の計数目標と経過実績	……	10

業績ハイライト（単体）

当行では、中期経営計画2年目を迎え、各施策へ積極的に取組んだ結果、預貸金の順調な増加により、経常収益は前年同期比12億56百万円増加し、127億2百万円となりました。また、第2四半期純利益は前年同期比13億49百万円増加し、過去最高益を更新する19億49百万円となりました。

- 預金残高は、山口県・広島県・福岡県の地元を中心に前年同期比661億円増加し、9,880億円（増加率7.1%）となりました。貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出を中心に前年同期比507億円増加し、6,857億円（増加率7.9%）となりました。
- 預貸金の順調な伸びを背景に、銀行の本業である資金利益は前年同期比3億83百万円増加し、82億43百万円（増加率4.8%）となりました。
- 自己資本比率（単体）は、前年同期比0.74ポイント増加して10.79%となりました。



損益の状況



● 単体

(単位：百万円)

	平成26年3月期		平成25年3月期
	第2四半期 (6ヵ月間)	前年同期比 (増減額)	第2四半期 (6ヵ月間)
経常収益	12,702	1,256	11,445
業務粗利益	7,802	△ 201	8,003
資金利益	8,243	383	7,859
役員取引等利益	△ 434	136	△ 571
その他業務利益	△ 7	△ 721	714
国債等債券損益	158	△ 635	793
経費	5,373	8	5,365
一般貸倒引当金繰入額	△ 310	28	△ 339
業務純益	2,738	△ 238	2,977
実質業務純益（一般貸倒引繰入前）	2,428	△ 209	2,637
コア業務純益	2,270	425	1,844
臨時損益	169	2,091	△ 1,922
不良債権処理額	471	105	365
個別貸倒引当金繰入額	465	99	365
株式等関係損益	736	2,144	△ 1,408
経常利益	2,907	1,853	1,054
特別損益	△ 11	9	△ 20
減損損失	-	△ 2	2
税引前中間純利益	2,896	1,862	1,033
法人税、住民税及び事業税	14	△ 642	657
法人税等調整額	932	1,155	△ 223
中間純利益	1,949	1,349	599

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

経常収益 前年同期比12億56百万円増収

● 経常収益は、有価証券利息配当の増加（+3億89百万円）による資金運用収益の増加と株式等売却益の増加（+8億55百万円）を主因に、前年同期比12億56百万円増加し、127億2百万円となりました。

業務粗利益 前年同期比2億1百万円減益

● 業務粗利益は、資金利益と役員取引等利益は増加したものの、国債等関係損益の減少（△6億35百万円）により、前年同期比2億1百万円減少し、78億2百万円となりました。

コア業務純益 前年同期比4億25百万円増益

● 銀行本来の収益力を表すコア業務純益は、資金利益の増加（+3億83百万円）と役員取引等利益の増加（+1億36百万円）により、前年同期比4億25百万円増加し、22億70百万円となりました。

経常利益 前年同期比18億53百万円増益

● 経常利益は、株式関係損益が改善（+21億44百万円）したことから、前年同期比18億53百万円増加し、29億7百万円となりました。

中間純利益 前年同期比13億49百万円増益

● 中間純利益は、前年同期比13億49百万円増加し、19億49百万円となりました。

資金利益の状況

◆銀行の本業である資金利益は順調に推移しております。

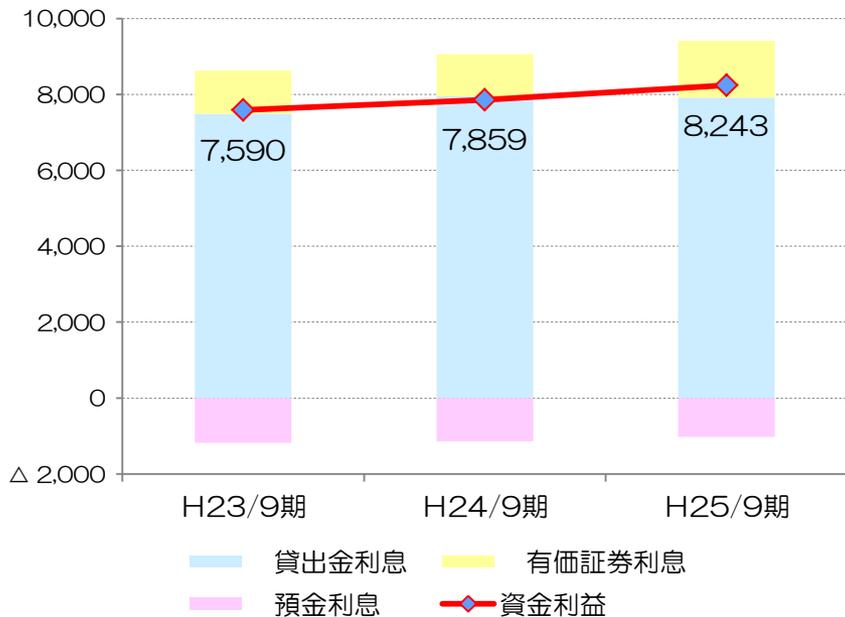
《資金利益の推移》

単位：百万円

	H23/9期	H24/9期	H25/9期
資金利益	7,590	7,859	8,243
貸出金利息	7,490	7,951	7,915
有価証券利息	1,136	1,108	1,498
預金利息	1,179	1,137	1,020

百万円 計数は資金利益額

資金利益の推移



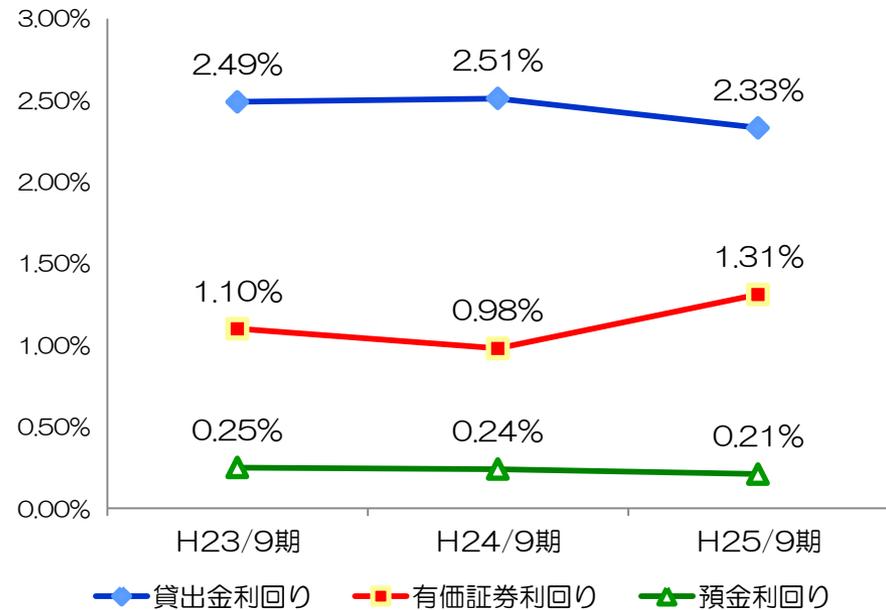
《資金利益の利回り推移》

国内業務部門

単位：%

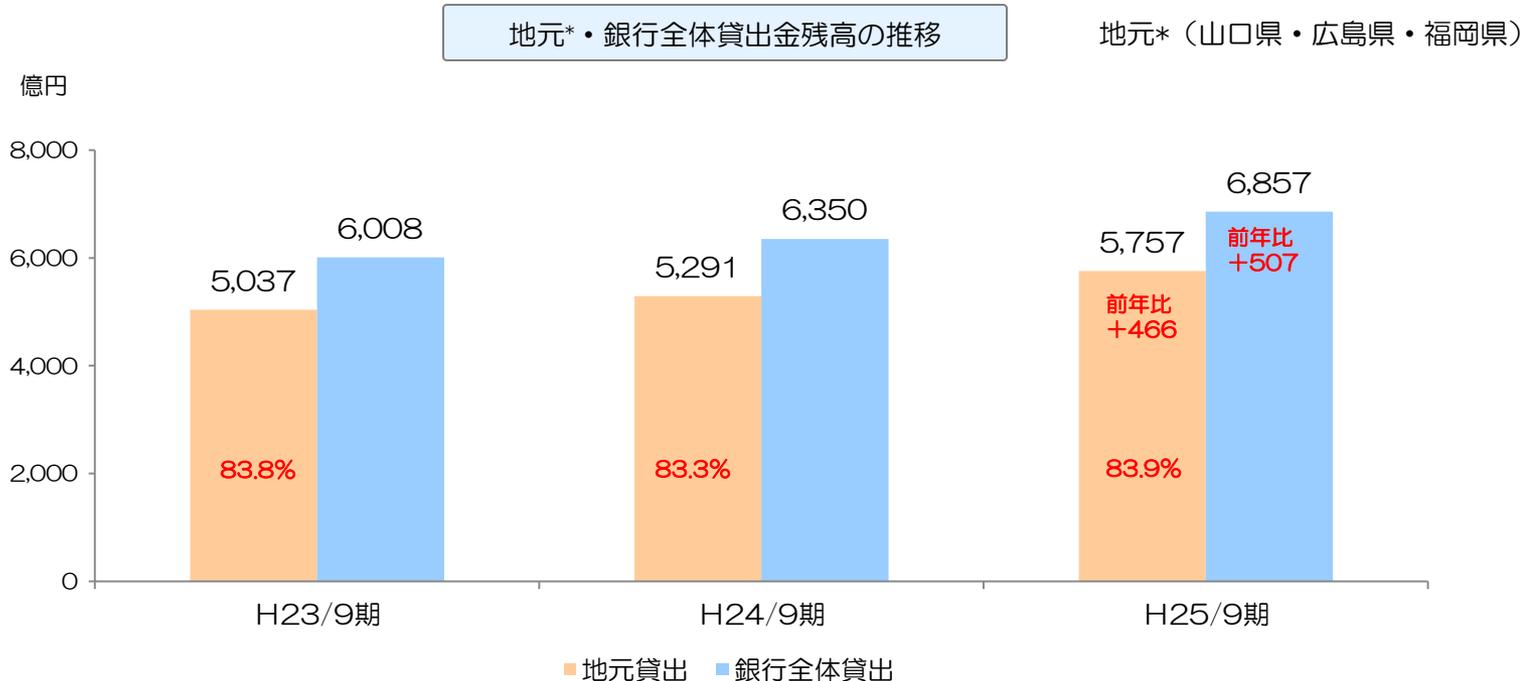
	H23/9期	H24/9期	H25/9期
貸出金利回り	2.49	2.51	2.33
有価証券利回り	1.10	0.98	1.31
預金利息利回り	0.25	0.24	0.21

資金利益利回りの推移



貸出金の状況 ～地域とともに～

- ◆貸出金は、地元中小企業向け・個人向け貸出に積極的に取組み、前年同期比507億円増加しました。
- ◆当行では、地域の皆さまからお預りした大切な預金を、資金を必要とされる地域の事業者さまや個人のお客さまに、借入金としてお使い頂く「**資金の地域内循環**」を進めております。今後も地元中心に積極的な地域内循環を進める方針です。
- ◆地元（山口県・広島県・福岡県）の貸出金残高は、5,757億円となり、前年同期比466億円増加し、総貸出金の83.9%を占めています。

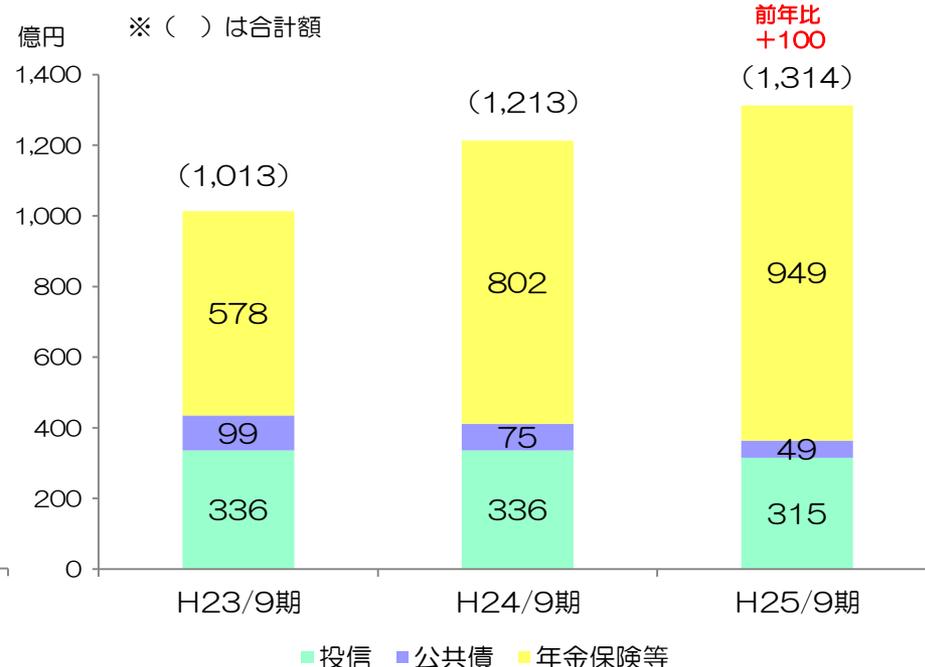
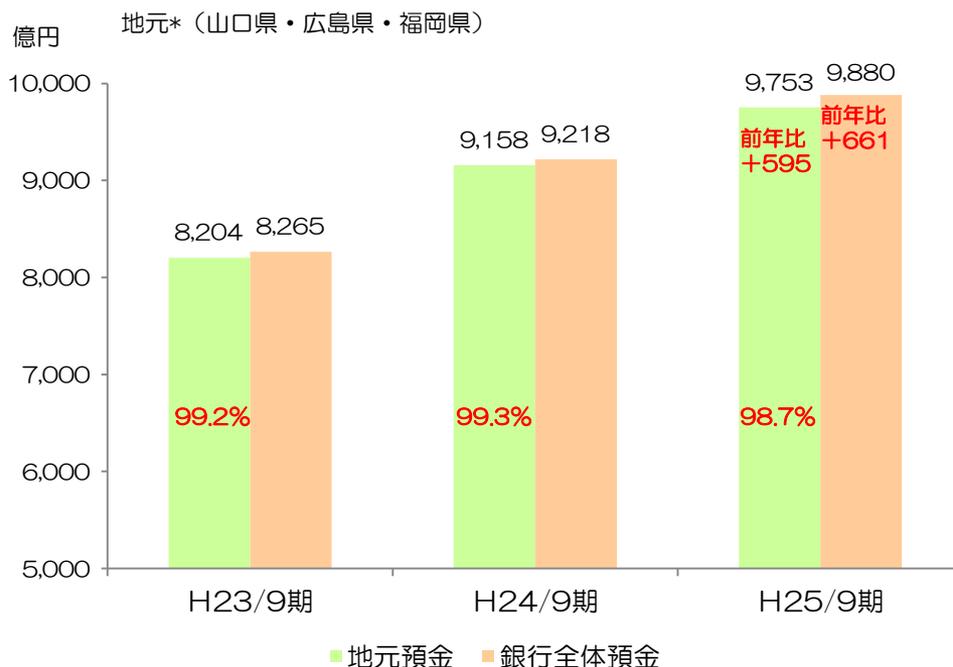


預金と預り資産の状況

- ◆預金については、「復興支援定期預金」や「貯蓄預金ジャンボ利！」等がご好評をいただき、残高は前年同期比661億円増加しました。中期経営計画の目標でもあります“預金量1兆円”に向けて、預金量は順調に推移しております。
- ◆また、地域のお客さまの多様化する資産運用ニーズにお応えするため、専門スタッフがきめ細かく対応する全13ヶ所のマネープラザを拠点に、預り資産残高は、前年同期比100億円増加しました。

地元*・銀行全体預金残高の推移

預り資産残高の推移



◆有価証券評価損については、重要な経営課題として計画的な圧縮に取り組んだ結果、平成24年3月期に含み損を一掃しております。当四半期には、評価益が前年同期比99億円増加しました。

《有価証券残高推移》

単位：億円

	H23/9期	H24/9期	H25/9期	H24/9期比
有価証券合計	2,045	2,051	2,430	378
国債	1,136	1,035	1,249	213
地方債	183	243	268	24
社債	210	245	404	158
株式	95	103	144	41
外国証券	182	210	168	△42
その他証券	237	213	195	△17

《その他有価証券評価損益推移》

単位：億円

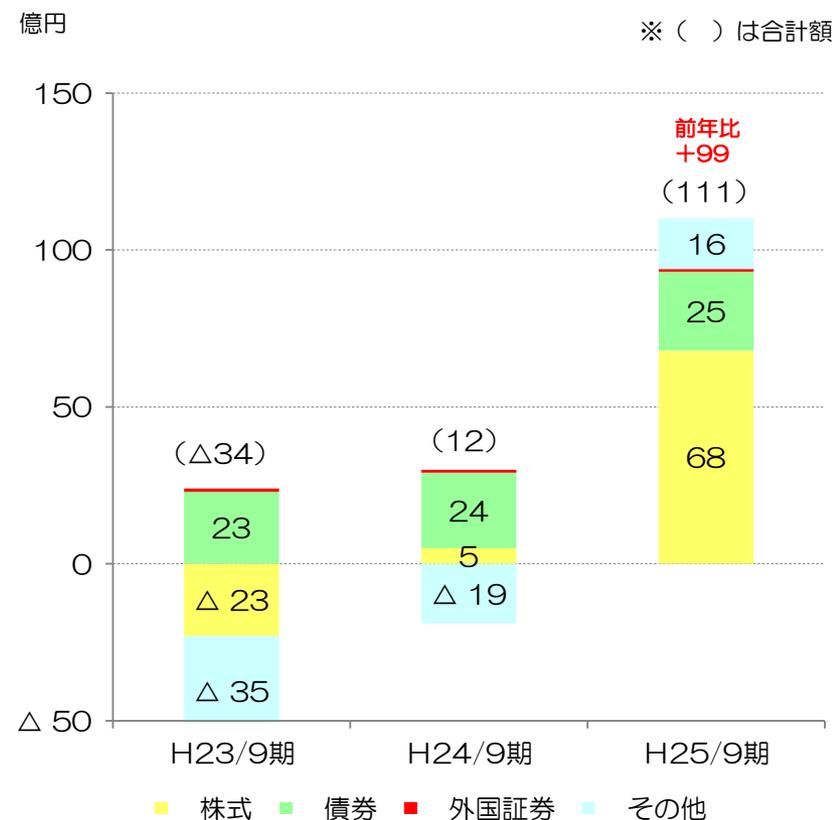
	H23/9期	H24/9期	H25/9期	H24/9期比
有価証券合計	△34	12	111	99
株式	△23	5	68	62
債券	23	24	25	0
外国証券	0	1	1	0
その他	△35	△19	16	36

《その他有価証券（国内債券）修正デュレーション推移》

単位：年

H23/9期	H24/9期	H25/9期	H24/9期比
4.768	4.317	3.456	△0.861

その他有価証券評価損益の推移



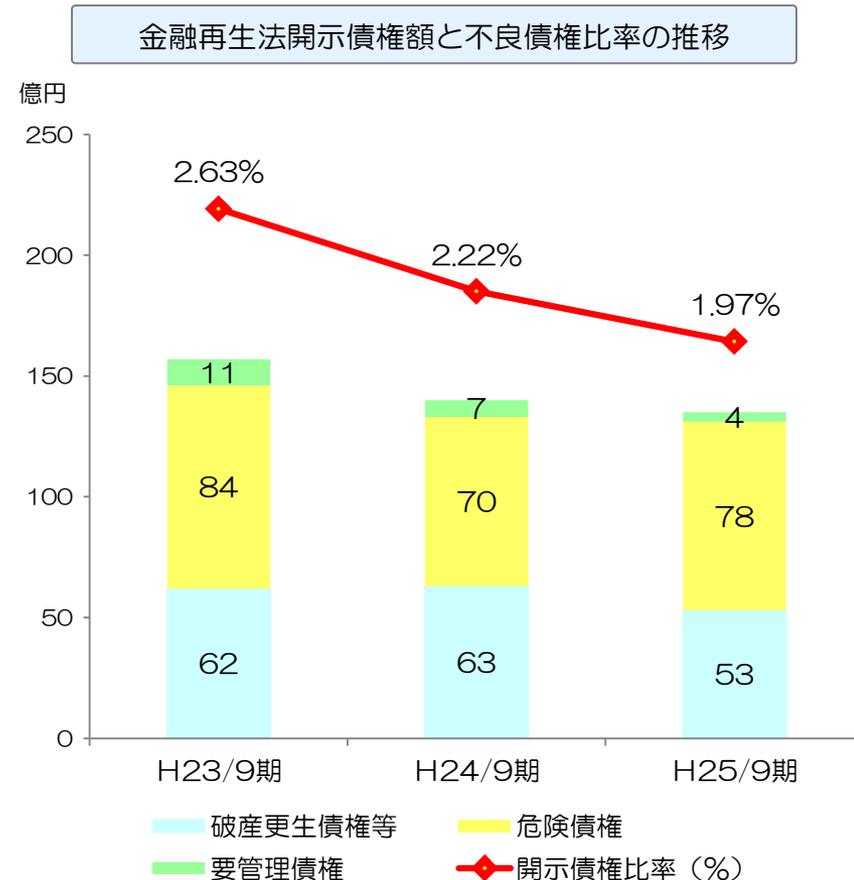
不良債権の状況

◆金融再生法基準での開示債権比率は、前年同期比0.25ポイント低下し、1.97%となりました。

《金融再生法開示債権推移》

単位：億円

	H23/9期	H24/9期	H25/9期	H24/9期比
破産更生債権等	62	63	53	△ 10
危険債権	84	70	78	7
要管理債権	11	7	4	△ 3
開示債権合計	159	141	135	△ 5
正常債権	5,880	6,238	6,752	513
開示債権比率 (%)	2.63	2.22	1.97	△ 0.25
貸倒引当金	38	21	21	△ 0
担保・保証等	107	106	100	△ 6
保全率 (%)	91.67	90.53	89.28	△ 1.25



自己資本比率の状況

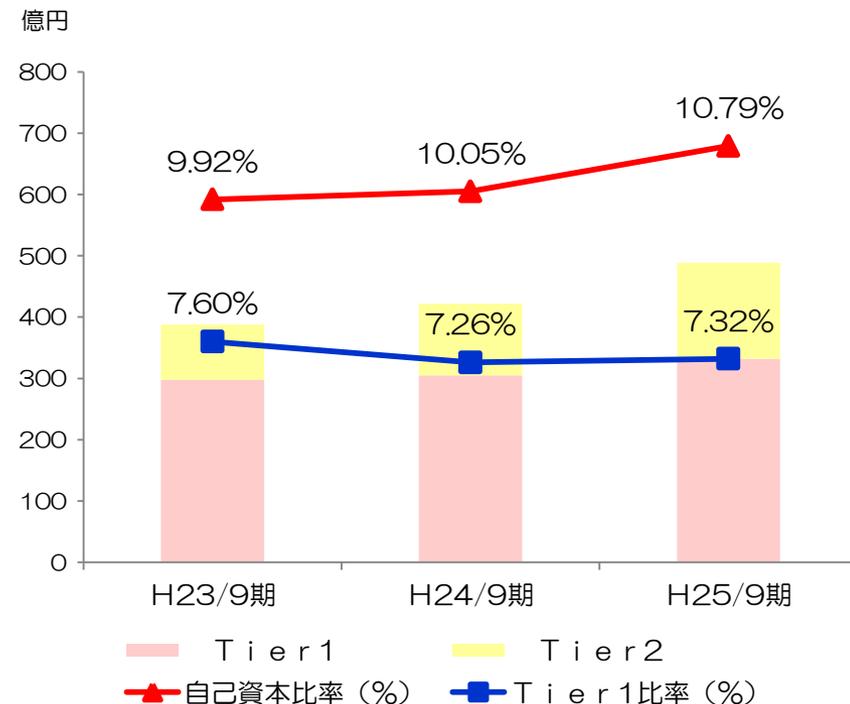
- ◆単体自己資本比率（国内基準）は、前年同期比0.74ポイント増加し、10.79%となりました。
- ◆普通株式や内部留保としてコアとなる自己資本額（=Tier1）は、前年同期比27億円増加しており、今後も利益確保による積上げを行う方針です。

《自己資本比率の推移》

単位：億円

	H23/9期	H24/9期	H25/9期	H24/9期比
自己資本	388	422	490	67
Tier1	298	305	332	27
Tier2	90	117	157	40
負債性資本	60	90	129	39
リスクアセット	3,918	4,203	4,539	335
自己資本比率（%）	9.92	10.05	10.79	0.74
Tier1比率（%）	7.60	7.26	7.32	0.06

自己資本およびリスク・アセット等（単体）の推移



中計期間中（平成24年4月～平成27年3月）の計数目標と経過実績

- ◆平成24年4月からの3年間の中期経営計画期間において、「3つの挑戦」と計数目標を定めております。
- ◆実績は順調に推移しており、より多くのお客さまから選ばれ、地域のシェアを高めるために、①「預金量1兆円以上」③「新規融資事業所開拓3千件以上」については、**目標を上方修正し今年度中の達成を目指します。**
- ◆アベノミクス効果の浸透に伴う景気回復局面での地元の資金需要拡大に積極的にお応えするため、**⑥貸出金残高7,000億円以上**、**⑦預貸率70%以上**を新たな計数目標として追加いたしました。
- ◆いずれの計数目標も計画を上回るペースで順調に進捗しています。

項目	H25/3期目標		H26/3期目標		
		H25/3実績		H25/9実績	
3つの挑戦	① 預金量1兆円以上	9,200億円	9,475億円	1兆円	9,880億円
	② 預金のお客さま純増3万件以上	1万件	12,088件	2万件	28,513件
	③ 新規融資事業所開拓3千件以上	1,000件	1,915件	3,000件	2,932件
計数目標	④ コア業務純益	45億円	47億円	50億円	22億円
	⑤ 自己資本比率	9.50%	10.54%	9.50%	10.79%
追加目標	⑥ 貸出金残高	—	6,652億円	7,000億円	6,857億円
	⑦ 預貸率	—	—	70%以上	70.6%

※ コア業務純益 … (資金利益 + 役務取引等利益 + その他業務利益) - 経費 - 国債等債券関係損益